

高齢化時代の 働き方・暮らし方

本格的な高齢化時代を迎えるに当たり、私たちの働き方、暮らし方が大きく変わりつつあります。

しかし、制度や政策、私たちの意識はそれにうまく順応しているでしょうか。

今回のシンポジウムでは、雇用システムや年金、育児、介護など、高齢者の生活を取り巻く状況の変化や解決すべき課題を多角的に議論します。

日時

2017年10月20日(金)

13:00~15:40 (開場 12:30)

会場

フクラシア東京ステーション

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル 5F・会議室H

・JR「東京駅」日本橋口 徒歩1分

・地下鉄「大手町駅」B6出口 地下直結

開会挨拶

佐藤 宏 一橋大学 副学長

報告

近藤 絢子 東京大学社会科学研究所 准教授

「高齢者雇用の現状と展望」

臼井恵美子 一橋大学経済研究所 准教授

「日本の労働市場における年金世代男性のさらなる貢献の可能性」

相馬 直子 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 准教授

「ダブルケア時代の家族政策:育児・介護・多重ケアの実態調査から」

パネル・ディスカッション

司会

小塩 隆士 一橋大学経済研究所 所長

参加無料

定員制・先着順

お申し込み先 URL

<https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/v33/entries/add/71>



一橋大学経済研究所 総務係

国立大学附置研究所・センター長会議

TEL 042-580-8312 E-mail : ier-so@dm.hit-u.ac.jp